

科目名	医療事務(医科)ⅡA						
科目名(英)	Medical office work						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	高田 ゆかり		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	医療事務として医療機関に勤務		
対象学科・学年	診療情報管理士科2年						
授業概要	DPCは診断群分類に基づく急性期入院医療における診療報酬包括支払制度であり、この授業では病名や治療内容に応じて分類された診断群分類に基づき入院医療費を計算する方法及びレセプト作成について学び、知識習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					DPCの概要、制度について理解し、説明することができる	
		○				病名および治療内容から正しい診断群分類を決定することができる	
		○				診断群分類より包括評価部分の点数算定ができる	
		○				出来高算定部分と合わせ、DPCレセプトを作成することができる	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	2020年4月診療報酬改定について				予習不要、復習を必ずすること	
	2	出来高レセプト作成(外来・入院)				予習不要、復習を必ずすること	
	3	DPCの概要・制度について				予習不要、復習を必ずすること	
	4	DPC請求までの流れ				予習不要、復習を必ずすること	
	5	診断群分類の決定				予習不要、復習を必ずすること	
	6	包括評価部分の算定方法				予習不要、復習を必ずすること	
	7	包括評価部分の算定方法				予習不要、復習を必ずすること	
	8	包括評価部分の算定方法、レセプト作成				予習不要、復習を必ずすること	
	9	包括評価部分の算定方法、レセプト作成				予習不要、復習を必ずすること	
	10	カルテ→点数算定(出来高・包括)→レセプト				予習不要、復習を必ずすること	
	11	カルテ→点数算定(出来高・包括)→レセプト				予習不要、復習を必ずすること	
	12	カルテ→点数算定(出来高・包括)→レセプト				予習不要、復習を必ずすること	
	13	診断群分類の変更、再入院の取扱い				予習不要、復習を必ずすること	
	14	出来高算定と包括算定での点数差異について				予習不要、復習を必ずすること	
15	DPC総まとめ				予習不要、復習を必ずすること		
評価方法	(1)正試験で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	正試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	コンピュータ概論ⅡA						
科目名(英)	computer Introduction						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	勝見 令子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	PC操作について社会人へ講義		
対象学科・学年	診療情報管理士科 2年						
授業概要	経済産業省が認定する国家資格「ITパスポート」に合格するための対策授業。 (ストラテジ系・マネジメント系で出題される範囲を理解する。)						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ストラテジ系で出題される範囲を理解する。	
	○					マネジメント系で出題される範囲を理解する。	
テキスト・教材 参考図書	FOM出版 よくわかるマスター ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集 平成30-31年度版						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1 から 15	確認プリント(前回の内容を理解できたかを問う) 第2章 経営戦略 第3章 システム戦略 第4章 開発技術 第5章 プロジェクトマネジメント 第6章 サービスマネジメント				確認プリントを通し、自身で理解度を再確認すること。 授業中に説明する「よく出題される重要キーワード」を丸暗記するだけでなく、テキストの文章すべてに目を通し、理解を深めること。	
評価方法	前期末に実施する「定期試験」の結果によりS・A・B・C・Dの5段階評価を行う。 S:90点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 D:単位を付与しない						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○					100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	一般教養ⅡA						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	木村浩昌		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験	学習塾にて17年勤務		
対象学科・学年	診療情報管理士科 2年						
授業概要	プレゼンテーションの演習を行う。 グループでターゲットを決めて実在病院の公開情報及び現地取材を通して行う。 効果的なプレゼンテーションの技能だけでなく、将来の病院実務で通用する技能を磨く						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					先輩のプレゼンテーション成果物を見ながら概要を学ぶ。	
		○				プレゼンテーションを実施し、その効果的な手法を体得する。	
	○					他のグループのプレゼンテーションを通じて自己の糧とする。	
テキスト・教材 参考図書	プロジェクター、PC、パワーポイント、その他						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	プレゼンテーションのポイント学ぶ				ターゲット病院の調査	
	2	先輩のプレゼンテーションを検討する				発表の検討・資料の作成	
	3	グループによるプレゼンテーションの実施1回目				発表の検討・資料の作成	
	4	グループによるプレゼンテーションの実施1回目				発表の検討・資料の作成	
	5	グループによるプレゼンテーションの実施1回目				発表の検討・資料の作成	
	6	グループによるプレゼンテーションの実施1回目					
	7	今までの演習の反省				ターゲット病院の調査	
	8	更に効果的なプレゼンテーションをするには				発表の検討・資料の作成	
	9	グループによるプレゼンテーションの実施2回目				発表の検討・資料の作成	
	10	グループによるプレゼンテーションの実施2回目				発表の検討・資料の作成	
	11	グループによるプレゼンテーションの実施2回目				発表の検討・資料の作成	
	12	今までの演習の反省					
	13	グループによるプレゼンテーションの実施3回目				発表の検討・資料の作成	
	14	グループによるプレゼンテーションの実施3回目				発表の検討・資料の作成	
15	グループによるプレゼンテーションの実施3回目						
評価方法	プレゼンテーション演習の結果を毎回(A-C)評価し、その総合点で成績とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品	○	◎		◎		100%
履修上の注意	出席が2/3回に満たない場合は、単位取得できません。						

科目名	Windows演習(Excel応用①)						
科目名(英)	Windows						
単位数	2	時間数	15	担当者	田丸 順子		
実施年度	2020	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	情報システム処理・開発		
対象学科・学年	診療情報管理士科2年						
授業概要	正確で速いタイピングを身につける Excel2013を用いてビジネス社会における通常の表計算処理を行うことができると同時に、パソコン、表計算、 ビジネス図表に関する実践的な技能を習得する。						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			手元を見ずに、正確で速いタイピングができる。	
		○				高度な関数を使って処理ができる。	
		○				データの多角的な分析や、複合グラフを作成できる。	
		○				複数のワークシートやブックの連携や統合・集計ができる。	
	○				処理の自動化を行うマクロを作成することができる。		
テキスト・教材 参考図書	Excel2013クイックマスター 応用編 (ウィネット) Excel表計算処理技能認定試験 1・2級問題集 (サーティファイ)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	タイピング練習、入力補助機能(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	2	タイピング練習、入力補助機能(2)、関数(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	3	タイピング練習、関数(2)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	4	タイピング練習、関数(3)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	5	タイピング練習、関数(4)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	6	タイピング練習、関数(5)、グラフ機能(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	7	タイピング練習、グラフ機能(2)、複数ワークシートの集計(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	8	タイピング練習、複数ワークシートの集計(2)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	9	タイピング練習、データベース(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	10	タイピング練習、データベース(2)、データの分析(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	11	タイピング練習、データの分析(2)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	12	タイピング練習、処理の自動化、貸出リストの作成			テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	13	タイピング練習、貸出リストの分析、最適化分析と処理の自動化			テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	14	タイピング練習、総合学習問題			学習した内容を復習しておくこと		
15	最終課題作成			授業内容に係る課題を作成するので、復習しておくこと			
評価方法	(1)授業の中で最終課題を実施する。(2)復習用に配布した課題は解答後提出する。(3)平常点として出席や忘れ物状況、授業への参加意欲を成績評価に加味する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	最終課題	○	◎	○			60%
	配布課題提出	○	◎	○			20%
	平常点				◎		20%
履修上の注意	出席が2/3回に満たない場合は、単位取得できません。 個人のデータは各自のUSBに保存するので、毎回必ず持参すること。						

科目名	接遇演習ⅡA						
科目名(英)	Business manners exercise ⅡA						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	進 ひろみ		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当実務経験	一般企業、放送局に勤務		
対象学科・学年	診療情報管理士科2年						
授業概要	病院実習で必要とされるマナーや就職先の即戦力として活躍できるスキルを身につけることが重要である。1年次で学んだ一般社会のビジネスマナーを基本とし、医療人としてどうあるべきかを考え、医療現場に必要な接遇マナーを学ぶ。グループワークやケース問題などを通し様々な場面の対処を自ら考え、考えたことを実践できるようロールプレイングなどを行う。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					病院実習の準備をすることができる	
	○					医療スタッフのサービスマインドについて話すことができる	
	○					医療スタッフとして職員間のコミュニケーションをとることができる	
	○					医療スタッフとして患者対応の基本を理解することができる	
	○	○				院内接遇の基本を行うことができる	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナー基礎実習新版(早稲田教育出版) ・実戦ビジネスマナー(ウイネット)・ビジネス文書実務(早稲田教育出版) ・プリント教材、DVD教材使用 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業ガイダンス 1年次の振り返り①			1年次の資料(プリント)・教科書の復習をしておく		
	2	1年次の振り返り②			1年次の電話対応の復習をしておく		
	3	1年次の振り返り③			1年次の電話対応の復習をしておく		
	4	接遇演習(模擬授業)準備1			1年次の授業の振り返りをしておくこと		
	5	接遇演習(模擬授業)準備2			発表の準備を行っておくこと		
	6	接遇演習(模擬授業)発表			発表の準備を行っておくこと		
	7	患者受付対応1			1年次の来客対応の振り返りをしておくこと		
	8	患者受付対応2			前回の授業の振り返りをしておくこと		
	9	患者受付対応3			前回の授業の振り返りをしておくこと		
	10	患者電話対応1			前回の授業の振り返りをしておくこと		
	11	患者電話対応2			前回の授業の振り返りをしておくこと		
	12	患者電話対応3			前回の授業の振り返りをしておくこと		
	13	病院実習準備(心構え～アポイントメントの取り・訪問の仕方)			前回の授業の振り返りをしておくこと		
	14	外来患者への接遇・気配りについて			前回の授業の振り返りをしておくこと		
15	お礼状の書き方			前回の授業の振り返りをしておくこと			
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する。(2)宿題を数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。(4)身だしなみのチェックを行う。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	発表・確認テスト		◎	○	○		10%
	授業準備・態度・身だしなみ				◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	GCB II					
科目名(英)	Global Citizen Basic II					
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	中嶋 翔平	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	医療事務として病院勤務経験	
対象学科・学年	診療情報管理士科 2年					
授業概要	「社会とのつながりの中で自分自身の生きる姿勢」、また“志”について考える。夢を言語化してビジョンにし、強い信念で、自分以外の人や社会・公のことが視野に入ると“志”に近づくという事を学ぶ。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
				○		自ら考える、気づく力の獲得
				○		伝える力の醸成。自己発言力の育成
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシックII 志の教育					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	グローバルシティズンと“志”			振り返りレポートの作成	
	2	自分を取り巻く環境を知る			振り返りレポートの作成	
	3	自己を知る			振り返りレポートの作成	
	4	伝える力を学ぶ I			振り返りレポートの作成	
	5	伝える力を学ぶ II			振り返りレポートの作成	
	6	先人の志に学ぶ			振り返りレポートの作成	
	7	成功者の考え方に学ぶ			振り返りレポートの作成	
	8	自らの志を言語化する			振り返りレポートの作成	
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	レポート作成・発表				◎	
評価割合						100%
履修上の注意	出席が2/3回に満たない場合は、単位取得できません。					

科目名	医療管理総論/医療管理各論Ⅲ						
科目名(英)	Introductin to Medical Records Management、Medical Records Management Ⅲ						
単位数	3単位	時間数	46時間	担当者	廣瀬 智子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて診療情報管理士として勤務		
対象学科・学年	診療情報管理士科2年						
授業概要	1章では医療資源・医療制度・医療関連法規について理解し、4章では医療安全・医療の質・情報管理について理解し、適切な診療情報の管理できるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					医療の成立ちにおける社会資源の必要性を理解し、医療資源を具体的に理解する。	
	○					医療安全の基本的な要項を理解し、医療現場で活躍するための最低限の知識を身につける。	
			○	○		医療について意欲的に考える姿勢を持つことができる。(医療ニュースを調べる)	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・日本病院会 診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ(専門・1章～7章) ・日本病院会 診療情報管理士教育問題集(専門・1章～7章) 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	医療資源—物的資源			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	医療資源—人的資源			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	医療資源—財的・情報資源			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	日本の医療制度			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	医療の需要と供給			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	地域医療			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	医療関連の法規定—医療法、介護保険法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	医療関連の法規定—健康増進法、感染症法、 医薬品医療機器法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	医療関連の法規定—個人情報保護法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	第1章医療管理総論の問題集(問1～問22)			問題集の予習・復習をしておくこと		
	11	第1章医療管理総論の問題集(問23～問44)			問題集の予習・復習をしておくこと		
	12	第1章医療管理総論の小テスト(問題集:問1～問44)			確認テストを実施するため復習をしておくこと		
	13	安全管理—医療安全概論			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	安全管理—医療におけるリスクマネジメント、 ヒューマンエラー			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	15	安全管理—医療事故と医療過誤、医事紛争			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	16	医療の質管理—医療の質と保証			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	17	医療の質管理—チーム医療における診療情報共有			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	18	医療の質管理—医療の質マネジメントシステム、 医療の質の評価と公表			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	19	診療情報管理における診療情報請求データの活用			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	20	第4章医療管理各論Ⅲの問題集(問1～問21)			問題集の予習・復習をしておくこと		
	21	第4章医療管理各論Ⅲの問題集(問22～問45)			問題集の予習・復習をしておくこと		
	22	第4章医療管理各論Ⅲの小テスト(問題集:問1～45)			確認テストを実施するため復習をしておくこと		
	23	第1章医療管理総論、第4章医療管理各論Ⅲの総まとめ			問題集の復習をしておくこと		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)小テストを2回実施する。(3)医療ニュースについての発表を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上) A(80点以上) B(70点以上) C(60点以上) D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎					80%
	小テスト(総論)	○			○		10%
	小テスト(各論Ⅲ)	○			○		10%
履修上の注意	出席が16回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	臨床医学各論Ⅳ・Ⅶ/医学・医療用語						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	片伯部・上平・萩尾		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて医師として勤務		
対象学科・学年	診療情報管理士科2年						
授業概要	脳と神経系の疾患、眼、耳、「精神および行動」の障害など感覚系疾病、周産期疾患、について、その特徴、症状・所見、診断法、治療法の概要を学び、各種診断記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識の習得を目的とする(7章・10章)人体構造・機能、症状、診断名、医療行為などの必要な専門用語を習得し診療記録を適切に理解できること(12章)						
授業形式	講義:	○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					精神・脳神経・感覚器系等の疾病について、特徴、症状・所見、診断法、治療法を学び適切な病歴診断名につなげる知識を習得する	
	○					周産期系の疾病について、特徴、症状・所見、診断法、治療法を学び適切な病歴診断名につなげる知識を習得する	
	○					人体構造・機能、症状、診断名、医療行為などの必要な専門用語を習得する	
テキスト・教材 参考図書	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1～2	精神・脳神経・感覚器系等の疾患—精神および行動の障害			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3～5	精神・脳神経・感覚器系等の疾患—神経系の疾患			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6～10	精神・脳神経・感覚器系等の疾患—眼および付属器の疾患			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11～18	周産期系の疾患—妊娠、分娩および産褥			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	19～20	周産期系の疾患—周産期に発生した病態			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	21～30	医学・医療用語—医学用語			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
評価方法	(1)定期試験(筆記)にて評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎				100%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						